

みずほCustomer Desk Report 2023/03/31号 (As of 2023/03/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	132.64
TKY 9:00AM	132.55	1.0842	143.68	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	132.96	1.0926	145.06	1.2310	0.6682
SYD-NY Low	132.20	1.0825	143.20	1.2393	0.6717
NY 5:00 PM	132.75	1.0905	144.76	1.2298	0.6662
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,859.03	141.43	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	12,013.47	87.23	日本10年債	0.3100%	0.0100%
S&P	4,050.83	23.02	米国2年債	4.1205%	0.0215%
日経平均	27,782.93	▲100.85	米国5年債	3.6794%	▲0.0009%
TOPIX	1,983.32	▲12.16	米国10年債	3.5460%	▲0.0189%
ソコ日経先物	28,000.00	140.00	独10年債	2.3640%	0.0600%
ロンドンFT	7,620.43	56.16	英10年債	3.5110%	0.0450%
DAX	15,522.40	193.62	豪10年債	3.3410%	0.0280%
ハンセン指数	20,309.13	116.73	USDJPY 1M Vol	13.26%	1.22%
上海総合	3,261.25	21.19	USDJPY 3M Vol	12.41%	▲0.09%
NY金	1,997.70	13.20	USDJPY 6M Vol	11.65%	▲0.06%
WTI	74.37	1.40	USDJPY 1M 25RR	▲1.96%	Yen Call Over
CRB指数	264.38	1.67	EURJPY 3M Vol	12.56%	▲0.11%
ドルインデックス	102.14	▲0.50	EURJPY 6M Vol	11.94%	▲0.07%

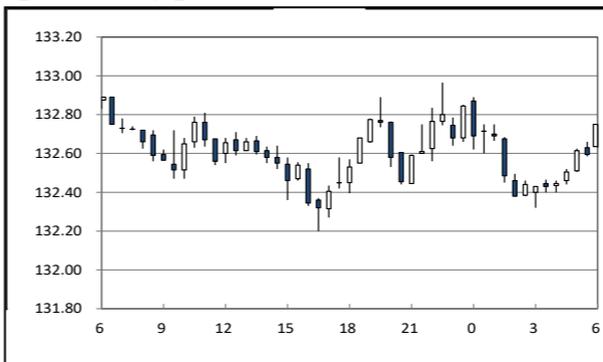
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
3月30日	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	3月 0.8%/7.4%	0.7%/7.3%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	25-Mar 198k	196k
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	4Q T 2.6%	2.7%
	21:30	米	個人消費	4Q T 1.0%	1.4%
	21:30	米	コアPCE(前期比)	4Q T 4.4%	4.3%
3月31日	01:45	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「インフレが根強く続くようなら、追加利上げで対応可能」	
	02:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「賃金の伸びは2%のインフレ目標に沿うペースを上回っている」	

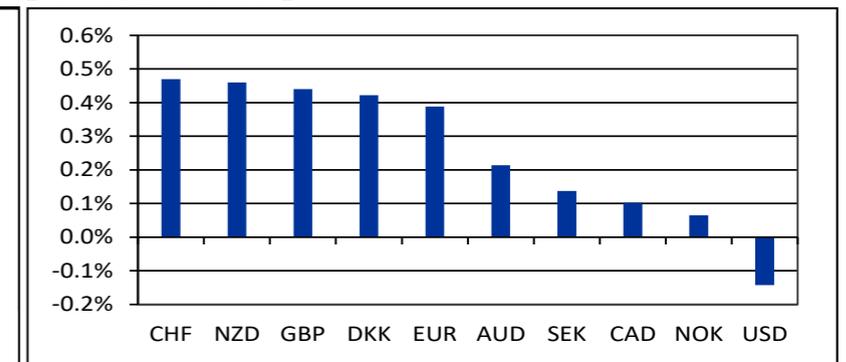
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
3月31日	08:30	日	東京CPI	3月 3.2%	3.4%
	08:30	日	東京コアCPI	3月 3.1%	3.3%
18:00	欧	CPI速報値(前月比/前年比)	3月 1.1%/7.1%	0.8%/8.5%	
	欧	コアCPI・速報	3月 5.7%	5.6%	
21:30	米	PCEデフレーター(前月比/前年比)	2月 0.3%/5.1%	0.6%/5.4%	
	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 63.3	63.4	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.00-134.00	1.0800-1.0950	143.50-146.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円はレンジ内の推移。東京時間は朝方は昨日の調整売りと実需の買いが交錯し、132円台半ばでのみ合いの展開。海外時間に入ると一時132.20台まで下落するも、欧米金融システム不安懸念の後退から欧州銀行株が買われ、米10年債利回りが上昇するとドル/円は上昇して一時133円近辺まで上昇。しかし、明日の米経済指標を控えて動意は乏しく、132.60台で引けた。米経済指標は発表されたものの、ほぼ市場予想比であったことから影響は限定的であった。本日も東京時間帯は月末によるドル買い優勢の展開も、欧米金融システム不安の新規ニュースや2月の米物価指数の結果次第では値動きの荒い展開になるものと想定される。

東京	東京時間のドル円は132.55レベルでオープン。目新しい材料に欠ける中、実需の売り買いが交錯し方向感無く推移。終盤にかけて米金利低下の流れに132円台前半まで下落する場面もあったが、その後は下げ幅を縮小し132.54レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.54レベルでオープン。特段の材料なく方向感のない動きで推移し、結局132.60レベルでNYに渡った。欧州株はリーフレイアウトで全面高で推移。ユーロドルは、1.0838レベルでオープン。独3月消費者物価指数が前月比鈍化したもののベースエフェクトによるもので市場への影響は限定的となり、ユーロドルは底堅く推移し1.0879レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台後半でスタート。アジア時間では持ち高調整目的のドル売りが先行し132.20まで売り戻された後、欧州時間に132.89まで買い戻される場面もあったが伸び悩み反落し132.60レベルでNYオープン。朝方に発表された米第4四半期GDP(確定値)や米第4四半期個人消費(確定値)が予想を下回った事、米新規失業保険申請件数が3週間連続で20万人を下回った事と米失業保険継続受給者数が予想を下回った事を受け、市場は円売りで反応し132.96まで上昇。しかし133円台を突破できず反落しその後は132.70付近を挟んだ推移が続く。午後には複数の米FRB高官がインフレは依然根強く残っており、年内の利下げを否定する効派発言のヘッドラインが伝わるも、市場は特段反応せず。米金利の低下に伴い小幅反落し132.40付近で揉み合いとなり、終盤に小幅反発し132.75レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。アジア時間では狭いレンジでの推移が続いたが、欧州時間に入るとユーロ圏3月景況感指数が予想を下回ったものの、欧州株式市場の好調を背景にユーロ買いが優勢となり、ユーロドルは堅調に推移し1.0879レベルでNYオープン。オープンと同時に発表された独3月CPI(速報値)の伸びは前年比では鈍化したものの、依然市場の予想を上回り、次回のECB会合での利上げ期待からユーロ買いが強まり1.0926まで続伸。その後は調整による売りに1.0897まで値を下げる。午後は1.09ちょうど付近での小動きとなり、1.0905レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:永野・多川